



運動会学部種目 「ゴールをきめるぞ!!シュートゲーム」

赤組、白組とも、「新聞紙ボール」がゴールにたくさん入るように、ドリブルやシュートを頑張りました。子供たちが蹴った「新聞紙ボール」は、丸めた新聞紙をビニール袋に入れ、ガムテープを巻いて作ったものです。少しの力だとコロコロと転がりませんが、子どもたちが思いっきり蹴ると勢いよく転がったり高く上がったりします。初めのうちは、ゴールめがけて思いっきり蹴ったのに、ゴールの外に飛んでしまい得点になりませんでした。そこで、ボールがまっすぐ飛ぶように、足の内側で蹴る練習をしました。支える足の位置と蹴り足の動きを覚えてシュートに取り組むと、次第に赤白どちらも得点が上がるようになりました。



練習でも、本番でも1回戦が終わった後の「作戦タイム」で、各チーム、どうやったら点がたくさん取れるかそれぞれやり方をみんなで考え、2回戦で実践し効果が表れていました。みんなで協力してゲームに臨み、「蹴る力」を思いっきり発揮して取り組めたと思います。あっぱれ!

